

学校経営方針

◆基本理念

- ①児童の夢をはぐくむために、いのちの教育を最優先に、特色ある教育課程を編成して教育活動を地道に行いながら、地域の児童の学力の定着と向上を図る。
- ②社会規範を身につけさせ一市民としての自覚と責任をもたせ、心身ともに健健康な児童を育成する。そのために学習指導と生活指導を本校教育の両輪と位置づけ日々の教育活動を進める。
- ③児童、保護者、教職員それぞれの目標をめざす姿として示し、互いに信頼関係を築きながら、その達成に向けた教育実践を行う。

●めざす学校像

- ①信頼され親しまれる学校
- ②仲間がいっぱいの学校
- ③学ぶ意欲がいっぱいの学校

●めざす子ども像(努力目標)

- ①すんで学ぶ子
- ②みんなとかよくする子
- ③めあてをもち元気よく活動する子

●めざす教師像

- ①子どもの人権を尊重する教師
- ②子ども一人一人を伸ばす教師
- ③子どもと親と同僚から信頼される教師
- ④資質向上に努める教師

●めざす保護者像

- ①学校と一緒に子どもを育てる親
- ②子どもと一緒に向上する親
- ③行事に積極的に参加する親

今年度の学校目標

「町小学校スタンダード」の定着

地域密着型の教育

地域学校連携協議会を中心とした、
①教育活動②安全安心活動③環境整備活動の3つにより、学校・家庭・地域住民の教育力を結集し、子どもたちの確かな学びと豊かな育ちをめざします。
《教育ボランティアの活用》

経営の重点

学力づくり

確かな学力の定着と向上のための指導の工夫・改善

基礎・基本の習得

「わかる」「できる」「楽しい」「身につく」学習の基礎を養い、やる気を出させる

■町小学校スタンダードの定着

学習の約束のスタンダード化(全学級共通の指導)

- ・持ち物・話し方・聞き方・書き方
- ・鉛筆の持ち方・姿勢

■家庭学習の習慣化

年4回の家庭学習がんばり週間

- ・宿題・音読・予習・復習の習慣化
- ・家庭学習の時間の目安

低学年20分以上・中学年40分以上・高学年60分以上

■学習内容を進めるぐんぐんタイムの実施

毎週4回、朝20分間「モジュールの時間」を設定

■TT指導による算数の少人数指導の実施

■個別応じた指導と特別支援教育の充実

校内研修の推進

子どもが主体的に学ぶ授業づくり

【研究主題】

自分の考えをもち、高め合う子どもの育成

(3/3)

～思考のずれを生かした
交流の工夫を通して～

【研究仮説】

学習過程の中に子どもの思考のずれが生まれるような場を設定し、交流を工夫することによって、自分の考えをもち、高め合う子

読書指導の充実

読書量と質を高める読書活動の推進

■読書の目標

低学年30冊・中学年25冊
高学年20冊

■課題図書の指定

1年間に2冊以上

■朝読書、すきま読書、

土日の家庭読書の奨励

・図書ボランティアによる本の読み聞かせの実施

・秋の読書週間の実施

総合的な学習の時間の充実

課題設定と情報発信

■町畠を題材にした探究活動の充実

3年「町畠あれこれマップ」

4年「春の町畠探検隊」

5年「八戸探検隊～町畠から八戸へ」

6年「心の地図を広げよう

～町畠の大先輩と交流しよう～

◎1.2年は生活科で、素地を育てる

1年「がっこうだいすき」

2年「なかよしたんけんたい」

■表現の追究

偶数学年の「オペレッタ」への取組

■交流・心の学習の充実

※人間関係づくり参考

健づくり

正課体育の充実

■明確なねらいをもたせた運動の設定

・基礎基本の充実

・センスアップ運動(基礎感覚作り)への取組

・身につけさせたい技能「町小体育スタンダード」への取組(体育発表会8月)
(マット運動・跳び箱運動)

・「わかる」「できる」ための学習指導計画の工夫

基礎体力・意欲の向上

■めあてをもって継続して取り組める運動の設定

・マラソンへの取組(マラソン大会11月)

・なわとびへの取組(なわとび大会2月)

心身の健康

■給食指導の充実

・学校栄養教諭の食育出前講座の活用
食育の充実と望ましい食習慣の形成

■歯みがき指導の徹底

・歯みがきの励行

(ビデオを活用した日常の指導・学校医との連携授業の推進)

・年2回「歯みがき強調週間」の実施
・長期休業中の歯みがきの励行

■清掃指導の徹底

・学校保健委員会「すこやか会議」の実施

信頼関係をつくる取組

教師と子ども
生徒指導、教育相談の充実

親と子ども
親子学習会

保護者と教師
参観日・個人面談・学校行事